

セブン-イレブン初「自販機」の取組み

「マイクロ・マーケット」のお客様に向けた新しい販売スタイル『セブン自販機』のテスト設置を開始

－ 2017年度中に100台まで順次拡大、オリジナル商品を中心に販売 －

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古屋 一樹）は、「マイクロ・マーケット」と呼ぶ極小商圈のお客様ニーズに対応する新しい販売方法として、食品自動販売機である『セブン自販機』のテスト設置を開始いたしました。

本取り組みは、店舗を出店するに至らないものの一定のニーズが見込める「マイクロ・マーケット」に着目し、開始するものです。オフィスビルや工場、物流センター、学校などの従業員休憩所や待合室、食堂などへの設置を想定し、セブン-イレブン店頭で取り扱っているおにぎりやサンドイッチ、パンなどのオリジナル商品を中心に販売いたします。管理・運営は近隣に位置する店舗が行い、商品の運搬・補充や鮮度管理まで一貫して行う仕組みです。

セブン-イレブンでは、今後も「近くて便利」なお店を目指すとともに、各地域に欠かせない社会インフラとしての役割を果たすべく、取り組んでまいります。

＜概要＞

- ◆名称 『セブン自販機』
- ◆仕様
 - 【サイズ】奥行 852mm×幅 2,023mm×高さ 1,834mm（大小2台連結利用）
 - 【面積】約 1.7㎡（約 0.5坪）
 - 【重量】約 555kg（商品込約 615kg）
 - 【決済】現金決済
 - 【温度帯】4温度帯にて管理
 - 【商品数】最大 75 アイテム（大：60 アイテム、小：15 アイテム）



★設置場所に合わせて選べる2色の本体色を用意

- ◆特長
 - ・店頭と同じ、品質・鮮度にこだわったオリジナル商品を販売。
 - おにぎり、サンドイッチ、パンなどを中心に品揃え。
 - ・日々の販売状況を管理し、ニーズに合わせた品揃えを実現。
 - ・販売期限が切れると販売を中止する「自動販売停止機能」を装備。
 - ・近隣の店舗が管理・運営を行い、その店舗に売上を計上する仕組み。